

大野パッキング株式会社

(1) 事業所の概要

○所在地：大野市上野57-1-1

○創業：1968年12月

○代表者名：臼井 善丸

○業種：製造業

○従業員数：53人

○事業内容：紙管製造

(2) 事業所で取り組んでいる健康づくり

【取組みの目標】社員が心身ともに元気に働け、安全、安心な職場を目指す

【取組みの内容】

○スニーカービズ 通勤・勤務時に歩きやすく作業しやすいスニーカー等を推奨している

○特定健診受診 毎年健康診断日を決め、会社に検診車を呼び役員および社員の受診率アップに努めている。再検査や精密検査が必要とされた社員に対し受診を促している

○受動喫煙対策 事務所・工場内を禁煙とし、外部に喫煙場所を指定

○食生活の改善 自動販売機の横に「高血圧」「高血糖」の注意喚起ポスターを掲示。ヘルシーメニューを提供する弁当事業者を利用している。

○運動機会の増進 毎朝始業時にラジオ体操を行っている

○感染症予防 各現場にアルコール消毒液を設置、それぞれの手洗い場には除菌用せっけんやハンドソープを備え置きし感染予防対策を徹底。マスクを備蓄し必要な社員に配布している。県外への外出を控えるよう指導し、止むを得ない場合は、出勤規定を定めている。

○年間休日日数増加 令和3年より年間休日数108日を110日に2日増加させる。

○メンタルヘルス相談窓口担当者を従業員に周知し、相談しやすい環境を整備中。

【取組みによる成果】

スニーカービズに取り組んでいることで、作業時の安全性が高まった。定例的な健康診断実施により受診率が高まり、社員の健康に対する意識が向上した。毎朝ラジオ体操を行うことで、作業前に体をほぐし体調の確認を行え、目覚ましにもなって事故の発生防止につながっている。感染予防を徹底していることで、現在のところ感染者は発生していない。事務所・工場内を禁煙にしたことで、受動喫煙リスクが低くなった。年間休日数を2日増加させることにより、社員が健康増進を図る機会や心身ともにリフレッシュできる時間を増やすことが狙い。メンタルヘルス相談窓口を周知したことで、1年で3名の相談あり組織的な改善に取り組んでいる。

(3) 今後の健康づくりの取組み

【今後の目指す姿】現在は体の健康づくりが主であり、今後心の健康づくりにも注力し取組目標の達成を図りたい。社員の健康が会社の利益との意識の下、社員が安心して働ける職場環境を目指したい。

【重点的に取り組む内容】メンタルヘルス対策の強化に向けて、不調者の個別面談を開始しており組織的対応を図りつつあるが、さらに就業規則の整備・充実を行い従業員に情宣していく。